■ ArrayAPVシリーズ　主な機能

SSL機能	1024/2048/4096bitの暗号鍵に対応し、より強固なセキュリティを実現するPFS/ECC暗号化方式もサポート。また、インサイドSSLも実現できます。
SNI機能	1つのIPアドレスに対して、複数ドメインのSSL証明書を適用可能です。そのため、ドメインごとに必要だったIPアドレス数を削減し、運用を軽減します。
クライアント証明書	クライアント証明書認証に対応。CRLやクライアント証明書チェックおよびパススルーもサポートします。
サーバロードバランス	HTTP(S)だけでなく、FTP(S),DNS,RDP,RTSPなど様々なサーバのロードバランスを行うことが可能です。また必要に応じてIPベースやHTTPヘッダ解析に基づくセッションパーシステンスも行います。
サーバヘルスチェック	ICMP、TCP(S)、HTTP(S)、Radius、DNS応答による死活監視の他、これらの組み合わせ、スクリプトカスタマイズによる柔軟なヘルスチェックを実現します。
ポリシーネスティング	負荷分散対象を決定するためのルール(ポリシー)を入れ子で定義できます。これによりURLやIPベースなど複数の負荷分散条件を利用した複雑な負荷分散設定も可能となります。
HTTPリバースキャッシュ	WebサーバからのレスポンスをArrayAPVがキャッシュし、サーバに代わってクライアントからのリクエストに応答することで、サーバ負荷を軽減します。
HTTPコンテンツ圧縮	HTML、XML、JavaScriptをはじめMS Officeファイルなどのコンテンツを ArrayAPVがダイナミックにgzip圧縮してクライアントに送信し、利用帯域を削減します。
HTTPコンテンツ変換	HTTPレスポンス内のコンテンツを特定のルールに従ってArrayAPVが書き換えを行います。
HTTPエラーメッセージのカスタマイズ	HTTPエラーコードごとに、ArrayAPVへユーザー定義のエラーページをインポートすることで任意のエラーページを表示することができます。
HTTPセッション集約	複数のHTTPセッションを少数のTCPセッションに最適化することでオーバヘッドを減らし、サーバ負荷を軽減します。
High Availablity(HA)	最大32台のAct/ActまたはAct/Stbでの冗長化を行います。またTCPセッション同期やコンフィグ自動同期も可能です。
クラスタリング	VRRPをベースとした独自プロトコルにより冗長化を行います。
シングルシステムイメージ(SSI)	LACPをサポートした上位スイッチとの連携により、複数のAPVで同じVIP、MACアドレスを利用したAct/Actの冗長化構成を実現します。
ファストフェイルオーバー(FFO)	ArrayAPVの冗長化機能に専用USBケーブルを利用することで、1秒以内での高速フェイルオーバーを実現します。(専用USBケーブルはオプションです)
グローバル負荷分散	ディザスタリカバリを目的として複数拠点間でサーバ負荷分散が可能です。(オプションライセンスが必要です)
リンク負荷分散	インバウンド/アウトバウンドトラフィックを複数ISP回線に重み付けやレスポンス時間、ポリシーベースで負荷分散することが可能です。
トラフィックシェーピング(QoS)	レイヤー4レベルのポリシーベースでの帯域制御を行います。
ダイナミックルーティング	RIP/OSPF/BGPを用いたルーティングテーブルの更新をサポートします。RIPv1,v2およびOSPFv2,v3、BGP4に対応しています。
IPv6対応	IPv6 Ready Logo PhaseⅡ(Gold)認定を取得。サーバ負荷分散、管理機能など、主要機能でIPv6およびIPv4/v6を混在した環境にも対応します。
URLフィルタリング	HTTPリクエスト内の特定の文字列を指定し、フィルタをかけることができます。
パケットフィルタリング	WebWall機能によりアクセスコントロールリスト(ACL)にてIPアドレス/ポートの組み合わせを定義し、適合した通信を許可または拒否することができます。
タグVLAN対応	IEEE802.1Q対応のタグVLANを使用し物理的なひとつのポートで複数セグメントとの通信を行います。
リンクアグリゲーション対応	IEEE802.3adに対応し、複数のインタフェースを論理的にひとつに束ねて扱い、インタフェースの冗長化を行います。
ネットワークアドレス変換	送信元/宛先NATに対応。また、IPv4 to IPv6はもちろん、IPv6 to IPv4/IPv6 to IPv6の変換も実現します。
日本語WebUI	日本語対応のWebUIで各種設定が可能です。
CLIへのSSH接続	SSHを使用し、ネットワーク経由でCLIにて設定が可能です。またユーザによって実行可能なコマンドに制限をかけることも可能です。
ログ機能	HTTPサーバのアクセスログやシステムログ、エラーログなどを収集できます。またSyslogサーバへの転送(TCP/UDP)や特定ログ出力時にメール送信も行えます。
SNMP機能	プライベートMIBによるArrayAPVの動作状況やトラフィック情報などを取得可能です。SNMP Trapにも対応しています。
API制御	XML-RPC, SOAP-API、RESTful-APIに対応し、外部から制御が可能です。

Array Networks × 日立ソリューションズ

国内No.1ディストリビュータ※

日立ソリューションズは15年連続国内売上No.1(2001～2015年)。
累計1,000社以上の導入実績で培った豊富な製品ノウハウで導入から運用までワンストップでサポート。

※出典:アレイ・ネットワークス株式会社

“日本品質”へのこだわり

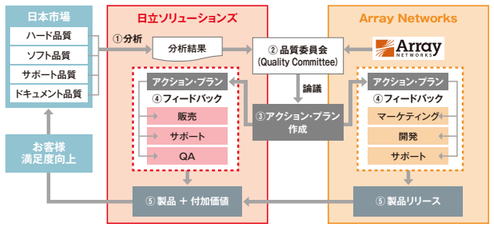
日立ソリューションズではソフトウェア、ハードウェアについて独自の基準に基づくリリース前品質評価を実施。お客様に海外ベンダー製品を安心してご利用いただくために“日本品質”の実現を目指しています。

“ユーザーサポート”へのこだわり

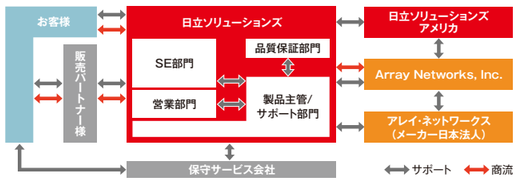
製品サポート総合満足度96%(2015年10月～2016年3月/当社調べ)を達成。もちろん日本全国24時間365日オンサイトにてハードウェア交換サービスを提供※します。またお客様専用Webサイトから最新のリリース情報、技術資料などをいち早くお届けします。

※拡張保守サービス締結の場合

■品質向上の取り組み



■販売・サポート体制図



■ 開発元 Array Networks

※Array Networks、ArrayAPV、SpeedCore、WebWallは、米国Array Networks, Inc.の登録商標または商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ
www.hitachi-solutions.co.jp

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/array/sp/

S08S-01-04　2016.09

Array Networks

HITACHI
Inspire the Next

アプリケーションデリバリコントローラ

ArrayAPV

トラフィック急増時代にネットワークの高速化を実現する司令塔。サーバ負荷分散からマルチホーミングまでWebシステムに必要な機能を1台に搭載。アプリケーションデリバリコントローラ ArrayAPV

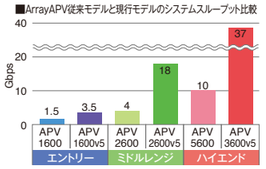
クラウドサービスやモバイルデバイスの普及などで、インターネット上のトラフィックは増加の一途をたどり、
Webシステムやネットワークにかかる負荷は、より一層高まってきました。
これに伴い企業は、WebサーバやISP回線の増強を検討する中で、ICTコストのさらなる削減とICT投資の最大限効率化が求められ
システムやネットワーク設備投資と収益のバランス改善が喫緊の課題となっています。
では、こうした課題を解決するために必要なものは何か。
その答えが、アプリケーションデリバリコントローラ ArrayAPVです。
洗練されたサーバロードバランス機能をはじめ、セキュリティとハイパフォーマンスを両立するSSLアクセラレーション機能、
ネットワーク資源の有効活用と高可用性を実現するマルチホーミング機能など、統合型アプライアンスとして多彩な機能を搭載。
今後ますます増え続けるインターネットトラフィックへの対応を求められる企業ネットワークの司令塔として、
お客様のビジネスを未来へと加速させます。

サーバロードバランス

Webシステムの可用性とスケーラビリティを飛躍的に向上させます。

●SpeedCoreテクノロジ搭載、高コストパフォーマンスを実現

ArrayAPVは、最新のマルチコアCPUに最適化されたSpeedCoreテクノロジ搭載の独自OS ArrayOSで動作します。現行モデルは、従来モデルと比較し、最大4倍以上のシステムスループットを実現。圧倒的なコストパフォーマンスを誇ります。



●インテリジェントなセッションパーシステンス

ArrayAPVなら、複雑なスクリプトを使わずとも簡単にサーバが発行するJsessionIDなどの動的セッションIDを利用して、セッションパーシステンスを維持可能です。もちろん、Array自身がクライアントのIPアドレスやHTTP Cookieを判別することも可能です。

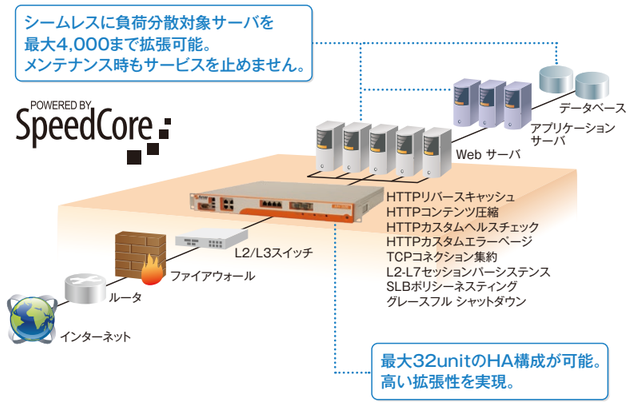
●HA構成による更なるパフォーマンス向上

ArrayAPVは、エントリーモデルから最大32台のハイスケーラブルなHA構成が実現できます。システムが拡大してもリプレース無しに対応可能で、企業のICT投資を無駄にしません。さらにTCPセッション同期、1秒以内での高速なフェイルオーバーなどミッションクリティカルなシステムに必要な先進の機能を標準で備えています。

●IPv6環境への移行に向けて

ArrayAPVはアプリケーションデリバリカテゴリ製品で初となるIPv6 Ready Logo PhaseⅡ（Gold）認定を取得しています。来たるIPv6環境への移行も、安心してお任せいただけます。

シームレスに負荷分散対象サーバを最大4,000まで拡張可能。メンテナンス時もサービスを止めません。



最大32unitのHA構成が可能。高い拡張性を実現。

SSLアクセラレーション

Webシステムに求められるセキュリティとパフォーマンスを両立します。

●SSL暗号処理の負荷の増大

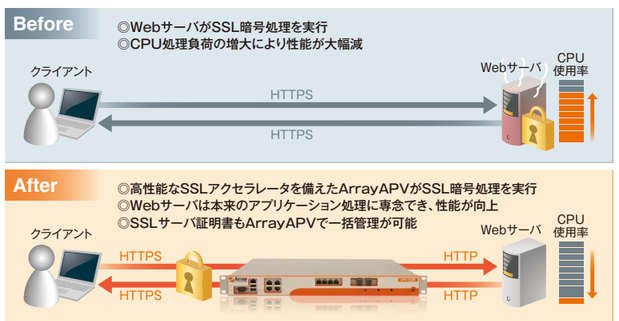
SSL暗号は従来のオンラインバンキングのような一部のWebシステムだけでなく、SNSやオンラインショッピングなど膨大なトラフィックが流れる一般的なWebシステムでも、もはや必須となっています。加えて、SSL暗号の鍵長増加の問題などもあり、サーバの貴重なリソースは本来のアプリケーション処理でなくSSL暗号処理により多く費やされることになります。

●専用ハードウェア処理による圧倒的パフォーマンス

ArrayAPVは全モデルでSSLハードウェアアクセラレータを標準搭載。サーバのSSL暗号処理コストを"ゼロ"にし、Webアプリケーションのパフォーマンスを最大化します。サーバパフォーマンスを最適化し、企業のICTコストを削減することができます。

●インサイドSSLによるEnd to Endセキュリティ

インサイドSSL機能では通常求められるクライアントとの通信だけでなく、サーバとの通信もSSL暗号化することが可能になり、企業内通信のセキュリティを容易に確保することが可能です。



マルチホーミング

ISP回線を多重化し、システムのアキレス腱"単一障害点"を無くします。

●最小限のランニングコストでシステムを高信頼、高性能に

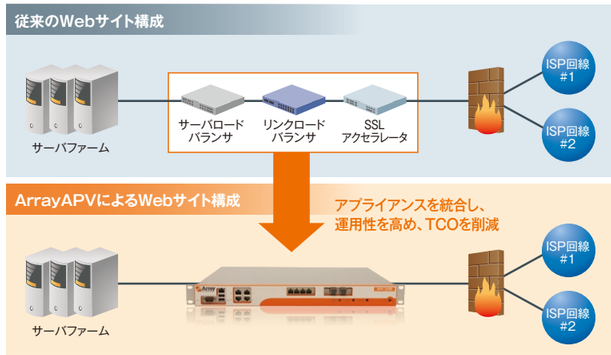
システム内での冗長性を十分考慮して設計したとしても、ひとたび提供基盤となる回線障害が起きれば、サービスストップに直結してしまいます。金融系システムや物流システムなど社会インフラを支えるミッションクリティカルなシステムでは、更なる高信頼性が求められます。マルチホーミング機能は複数のISP回線に負荷分散を行うことで最小限の回線コストで簡単に単一障害点を無くすことができます。

●統合型アプライアンスならではのメリット

ArrayAPVはマルチホーミングを含む多彩な機能を一台のアプライアンスで実現します。システムの全体最適化を促すと共に、管理者を煩雑な運用管理から解放し、システムをより頑健なものにします。

●Inbound、Outbound双方向通信の回線負荷分散に対応

ArrayAPVは通常のOutbound方向の回線負荷分散だけでなく、Smart DNS機能によってArray自身がDNSサーバのように振舞うことでInbound方向の回線負荷分散にも対応します。



仮想環境への対応 Array vAPV

仮想環境上でハードウェア同等の豊富な機能をサービス利用に適した柔軟なライセンスでご提供します。

■「ご利用期間」に応じた柔軟なライセンス方式

Array vAPVは、月/年単位の期間に応じたサブスクリプション方式のライセンスを提供しています。仮想マシンのリソースも柔軟に選択可能なため、導入後のスケールアップ/スケールダウンを容易に実現します。さらに、必要な期間を絞ったご利用が可能なため、ASPやSaaSなど提供されるサービス期間が異なるケースに最適です。ハードウェア製品はもちろん、パッケージソフト製品よりもイニシャルコストを抑えて導入可能です。

■様々なお客様環境への適応を可能とする、マルチハイパーバイザー対応

Array vAPVはハードウェア同様の多彩な機能を搭載した独自OSで、様々なハイパーバイザー環境でご利用可能です。さらに、Array自身の冗長化機能だけでなく、ハイパーバイザー環境の冗長化機能もサポートします。これにより、Array vAPV単一のライセンスでの冗長化も実現します。

■vAPVのシステム要件

仮想マシン環境	仮想ネットワーク I/F	4ポート
	仮想メモリ容量	2GB
	仮想ディスク容量	40GB
vCPUコア数		1 / 2 / 4 / 8 / 16
対応ハイパーバイザー（※64bit版）		VMware vSphere Hypervisor
		Citrix Xen
		Open Xen
		Microsoft Hyper-V
		KVM

※仮想アプライアンス vAPV/vxAGの性能は導入いただく仮想環境サーバの性能に依存します。
※ハイパーバイザーの詳細な対応バージョンにつきましては弊社までお問い合わせください。
※サブスクリプションライセンスの最初のご購入は最短6ヶ月からとなります。